

第26回田原市男女共同参画推進懇話会 次第

日 時：平成27年10月26日（月）

午後1時30分から

場 所：田原市役所南庁舎4階 政策会議室

1 あいさつ

○ 会長あいさつ

○ オブザーバーあいさつ

2 報告事項

(1) 各委員の取組状況・情報提供 【資料1】

(2) 女性会議ウィットWITの活動について 【資料2】

(3) 第8回男女共同参画フェスティバル開催報告 【資料3-1】【資料3-2】【資料3-3】

(4) 平成27年度の市の男女共同参画推進施策について 【資料4】

3 議題

平成28年度の男女共同参画フェスティバルについて

4 その他

次回懇話会開催：平成28年3月頃（予定）

(配布資料)

【名簿・配席表】※当日配布

【資料1】 各委員の取組状況・情報提供

【資料2】 田原市男女共同参画懇話会での「女性会議ウィットWIT」の発表 ※当日配布

【資料3-1】 第8回男女共同参画フェスティバル開催報告

【資料3-2】 第8回男女共同参画フェスティバル出展者アンケート結果

【資料3-3】 第8回男女共同参画フェスティバル来場者アンケート結果

【資料4】 男女共同参画推進プランに基づく平成28年度実施予定事業

第5期田原市男女共同参画推進懇話会委員名簿

任期：平成27年5月26日～平成29年3月31日

【委員】

		氏名	所属団体・役職	備考
1	会長	柴田 陽助	田原市地域コミュニティ連合会 理事（高松校区会長）	欠
2	副会長	森下 静子	女性会議ウィットWIT 代表	
3	委員	萩原 裕久	一般社団法人田原青年会議所 専務理事	欠
4	委員	太田としゑ	あかばねひらがなの会 会員	欠
5	委員	中神 信明	J A 愛知厚生連あつみの郷 介護事業室長	欠
6	委員	菊池 邦子	社会福祉法人田原市社会福祉協議会 主任	
7	委員	吉武 正康	愛知外海漁業協同組合 代表理事組合長	欠
8	委員	太田 司	田原市認定農業者連絡会 会長	欠
9	委員	小久保満晴	愛知みなみ農業協同組合 人事課長	
10	委員	榎本 明美	渥美商工会女性部 部長	欠
11	委員	北野谷充香子	田原市商工会女性部 副部長	
12	委員	河合 郁朋	渥美半島観光ビューロー 事業推進本部員	欠
13	委員	大竹 正章	田原市議会 議員	
14	委員	大岩 澄代	田原市更生保護女性会 理事	欠
15	委員	石川 妙美	田原市農業委員会 委員	
16	委員	土井真紀江	田原市教育委員会 委員	欠
17	委員	本田 則子	行政相談委員	
18	委員	中村 匡	田原市政策推進部長	
19	委員	永田みよ江	公募者	

【オブザーバー】

	氏名	所属団体・役職	備考
	武田 圭太	愛知大学文学部教授	

【事務局】

	氏名	所属・役職	備考
	鈴木 通之	政策推進部市民協働課長	
	彦坂 英美	政策推進部市民協働課 副主幹	
	仲井 萌	政策推進部市民協働課 主事補	

第26回田原市男女共同参画推進懇話会 配席表

(敬称略)

愛知大学文学部教授

女性会議ウィットWIT

オブザーバー 武田圭太

委員 森下静子

田原市社会福祉協議会
委員 菊池邦子

田原市議会
委員 大竹正章

愛知みなみ農業協同組合
委員 小久保満晴

田原市農業委員会
委員 石川妙美

田原市商工会女性部
委員 北野谷充香子

行政相談委員
委員 本田則子

田原市政策推進部
委員 中村 匡

女性会議ウィットWIT
発表者

公募委員
委員 永田みよ江

事務局

鈴木市民協働課長

彦坂副主幹

仲井主事補

入り口

各委員の取組状況・情報提供

1

女性会議ウィットWIT 森下 静子 委員

女性会議ウィットWITは男女平等参画社会を推進していくうえで、何がそれを阻んでいるか、また、何が大切か（必要か）「気づき」「学び」「考え」「行動する」仲間として活動を行っています。

最近の活動から

3月には、4月に行われた県議会議員の選挙と、田原市長選挙の候補者各位と、懇談会を行いました。

「連呼する選挙活動」では、届かない双方の関係のなかから、一人一人の1票に責任を持って投票する力となりました。

27年度の活動状況

① 7月26日（日）「新市長山下政良さんと語る会」参加者52名

アンケートより：

■病院の話ですが、田原市には市民病院がないので、あつみ病院と合併してすべての病気にいい病院があるといいと思います。

市長さんとこんなに気楽に話ができる事は大変良い事だと思います。

■いろいろな考え方、困っていることなど聞けて、とても参考になりました。こういう機会があるということ自体、素晴らしいことだと思います。ありがとうございました。

■ぐるりんバスの路線変更は、できるだけ当事者の意見を大切にしてほしい。さらに、みんなが交通弱者になっていくという前提で考えていきたい。(他24名)

② 9月13日（日）14:00～15:30 田原市福祉センター 参加者28名

映画会&トーク 山上監督の作品 「30年のシスターフッド」

アンケートより：

■初めて映画を見せていただいて、まだよく理解はできていませんが、昔ながらの伝統や習慣も大切なこともあります。そこにもし、不満や違和感があったら「声を上げる」ことが大切と感じました。私や一人一人が「気持ちを抑える」から「声に出す」ように変えることで社会も変えられる。声を出すという自己解放を頑張りたいと思います。

■映画はとても興味深く観させていただきました。映画の中の女性たちの言葉は、どれもリアルで良し悪しはともかくとして女性の本音を吐きだせる場なんだなあと感じました。

ひとりひとりが自分の中に溜めてしまっている「思い」や「悩み」を言葉にして吐き出す「場」はいつの時代も必要なのだと痛感します。

③ 11月29日14:00～16:00 福祉センター チラシ参照

「いいとこさがし」の冠地 情（カンチ ジョウ）さん

- ④ 女性史全国大会参加（10月9、10、11日）東北盛岡他 ウィット関連で参加者6名

10月11日午前中は分科会を担当

第12回全国女性史研究交流のつどい in 岩手

次世代に受け渡す女性史を～岩手（遠野・大槌・宮古）から～

（受講した講座等の内容）

10月9日

- ・基調講演「戦後70年：平和の礎としての女性史を」加納 実紀代
- ・分科会②戦中戦後70年
司会／宮崎黎子（地域女性史研究会）
コーディネーター／井上照子（NPOウイメンズアクションネットワーク）
記録／森道（国立女性教育会館）
- ・戦後日本の平和主義と女たちの平和思想「8.15」から「3.11」を結んで考える
米田佐代子（NPO 平塚らいてうの会）
- ・遠野高女の勤労働員 箱石邦夫（戦中戦後を語り継ぐ会）
- ・戦中の少女たちの勤労働員の記録について 関千枝子

10月10日

- ・記念講演「小原麗子『自分の生を編む』－「おなご」、そして「戦争」－」
大門正克さんの講演
- ・シンポジウム「3度の津波と戦中、戦後を語る」鈴木京子、千田ハル、藤間千雅乃

10月11日

- ・分科会 ⑨性・生殖
- ⑨-1「産めよ増やせよ」から「受胎調節」そして今一国策の最前線で－
むらき数子（古々路の会、総合女性史学会）
- ⑨-2 次世代に繋ぐ、性と生殖のヘルスエンパワメント～昭和の母子健康センター
における出産体験当事者の語りから～ 伏見正江（山梨県立大学）
- ⑨-3 潮風の村から～ある女性医師の軌跡～ 森下静子（女性会議ウィットWIT）
山上千恵子（映画監督/ワークイン 女たちの歴史プロジェクト）

2

農業委員会 石川 妙美 委員

毎回農業委員としての男女共同参画への取り組みとしてあまりかわりませんが

- ・農業者年金への加入推進、特に女性の加入を進めることにより、老後のゆとりを考える。
- ・家族経営協定の推進
家族の役割を明確にして、お互いに尊重し合い、助け合うことにより、農業における女性の負担を軽減する。
- ・農業委員会主催の婚活（12月3日）を行います。
婚活を通して農業についても理解してもらいたい。

本日は、懇話会のみなさまに行政相談のPRをさせていただきます。

10月は行政相談週間（19日～25日）ということで愛知県では名古屋市と豊田市の2か所で総合相談所が開設されました。行政相談委員は、総務大臣から委嘱された民間有識者で、全国に約5,000人（各市区町村に1人以上）配置されており、国の仕事に関する苦情などの相談を毎年約10万件受け付け、助言や関係機関に対する通知などを行っています。

田原地区では毎年「男女共同参画フェスティバル」と「福祉のつどい」に参加し行政相談制度のPRのためブースを開設し、中部管区行政評価局の職員同席で来庁者の相談も受けています。通常の活動としては田原市社会福祉協議会が開催している「心配ごと相談」で弁護士と一緒に他の職種の方と交代で心配ごと相談員として同席し民事相談を受けています。私たちがこの日に行政相談として受ける案件は稀です。3人の委員が交代でこの業務を担当しています。

行政相談（委員）制度のPRの方法として行政相談出前教室というものがあり各地で多くの行政相談委員が取り組んでいます。今後の目標として田原市においても出前教室をスタートさせて行きたいと考えています。

特に子どもたちに行政相談（委員）制度について理解してもらうことが将来の制度活用につながる、あるいは、その保護者にも本制度が知られることになり行政相談委員の取り組みが広がっていくことが期待されます。

よりよい社会を目指すためには、あらゆる分野で男女共同参画を推進する必要があると思います。行政相談委員の組織を例にとると委員の男女比の女性の占める比率は全国では35%。愛知県は委員182人のうち女性が75人で41.2%。田原市は66.6%、3人の委員のうち2人が女性です。

近況報告として10月はじめに行政相談委員三河女性懇話会主催の研修旅行に参加。今回はお隣の浜松市の女性委員との意見交換会（活動事例について）でした。浜松市は女性の委員を育てるという当初の目的は果たすすでに女性会は解散しているとのお話でした。愛知県は女性の占める比率は高くなってきているが当面は2つの女性会は存続されると思うので研修会に参加し他市委員との親睦を図って行きたいと考えています。

フェスティバルは午前中映画で午後からが展示と活動発表とスタイルを変えましたが、まあまあ参加者で良かったです。

イベントはどうしてもマンネリ化しがちなので、「係」になったメンバーが真剣に話し合うことで新しい発想や改善点が見えてくるのだと思いました。

来年のイベントでも「男女ともにイキイキ活躍出来るために」考えていきたいです。

田原市男女共同参画懇話会での「女性会議ウイットW I T」の発表

日時：27年10月26日午後1時30分から

場所：南庁舎4階政策会議室

参加者：佐治良雄・諸橋幸子・鈴木恵実・永田みよ江・森下静子

森下静子

皆さん、こんにちは。

きょうは、懇話会で女性会議ウイットW I Tの団体紹介、活動発表をさせていただけることを感謝申し上げます。ウイットは今から14年前の平成14年に発足いたしました。最初は渥美地区だけの集りでしたが今は、田原市全体で17名ほどの会員で構成されています。他に賛助会員もいらっしゃいます。

会の内容について簡単にご紹介させていただきます。今日お配りした資料としてミニリーフレットがありますので、会の目的と事業内容はそこをご覧ください。

I どんなあり方を大切にする会か？

・個人として尊重される会

ひとりひとりが大切にされる、「差別のない」「暴力のない」「平和」で「自由」なあり方の社会。

→ ・多様性を尊重する会

II やっていく内容は？

・「気づき」「学び」「考え」「知恵を新たに紡いでいく、行動していく仲間」の会です。

→そこで、

III やっていく内容を具体的には？ 大きく分けて3種類

① 「定例会（毎月2回）」

普段生活する中でおかしいな、と思ったこと、悩みなど、を話していくことからスタートして、本質に言及していく。テーマ設定することもある。（かつてCRと言われている。今 哲学カフェと言われている内容に近い）

② 「オープンに一般に発信する会（年間4～6回）」・ ・学びと、交流と発展

毎回のこの懇話会で簡単にご紹介していることがこれに当たります。

③ 「それぞれの個の活動にも波及していく」ことを旨として進める。（地域の活動、親戚、家族、行政の委員会の中、趣味の会、ほかあらゆる人のいるところで）（これは、たまたま二次的に産物ですが、とても大切なこと。）

ざっと、大まかには、このような活動です。

今日は、この会を企画していただいたので この際、会員の皆さんから、一言ずつもらっています。それをそれぞれで伝えていきますのでよろしくお願いします。

佐治良雄

1. ウイトの会に入ってどんなことをやっているのか: ウイトの人たちって僕が研究していた論文に対して聞いてくれるのでうれしい。
2. どんな会か。
ウイトの会員がウイト以外の人たちとNPOを作って活動しているのが、すごいと思う。
3. 自分では、どうとらえているのか。
人間死ぬまで勉強、学びだと思っている、今の世の中を生きていて、情報が多い中で中立の立場でものを考えることって大変難しい時代だと思う。でも、ウイトの中では、それができるような気がする。
4. 自分や周辺が変わってきたこと。
あつみNPOネットワークの市長懇談会の時に、70歳を過ぎたと思われるおばさんがすばらしい発言をされました。この方は、自分では気づいていないけど、コミュニケーション力がついているのだと感じました。
5. コミュニケーション力は今の人間にとって一番に大切なことではないだろうか。ウイトに入って他人の前でしゃべることができるのは、自分の成長のためになると思う。
6. ウイトの考えが好き。それは、
7. きづき、学び、考え、行動する。です。

古森礼子

私がウイトと出会ったのは、去年の10月くらいでまだ1年に満たない新人です。友達に誘って頂き入会しました。

例会に参加して思ったことは話し合いの内容がとてもハイレベルだということ。しばらくは傍観者でした。何度も例会に参加していくうちに自分の思いを話せるようになりました。家庭では今までは、嫁の立場として夫、姑に何も言えない、「はい、はい」と何でも聞いているだけで、何も言うてはいけな思っていました。

でもウイトに入ってから、嫁であっても女であっても自分の意見や間違っているのではないかと疑問に思うことははっきり言わなくてはいけな思えるようになりました。これからは自分を1人の人間として高めていきたいと思います。

ウイトに対する意見ですが、映画会やら講演会などのイベントに追われているように思います。もっと身近な問題やら自分が悩んでいること(家族のこと世間的なことなど)について会員の皆さんと討議する中で解決の糸口が見つかるといいなと思います。

この前、どろんこ村で私、伊藤さん、小久保さん、北山先生、佐治さん、森下さんで例会をした時、議事も少なくざっくばらんにいろいろな話が聞けて楽しかったです。月2回の例会を講座の準備にあてる日と学習を目的にした(時には脱線して世間話も...)日と分けてやって行ったらいいなと私は思います。そのような、仲間同士打ち解けて話ができることが大切だと思います。

鈴木恵実

《ウィットへの思い》

私にとって、ウィットという会は、「学びの場」であり、「心の居場所」です。

ウィットの皆さんと関わり始めて、早 5 年になりますが、私は、メンバーの皆さんから、これまで、多くの「学び」を共有させて頂きました。ウィットの皆さんと出会うまでは、元々、社会への関心が強かった私ですが、同じ世代の友人たちとは、なかなか想いを共有出来ず、消化不良な部分がありました。しかし、ウィットの皆さんと出会い、年齢を感じさせないフラットな平場の関係性を築かせて頂き、メンバーの一人として“認めて”頂けたことで、以前よりも幅広い様々なジャンルの学びを得ることが出来るようになりました。また、一方通行の思考ではなく、「学びの共有」をすることにより、思想の深みが増したような気がします。

また、何より、メンバーの皆さんの優しい眼差しで「見守って」頂くことで、自分なりに、少しずつ、少しずつではありますが、段階を踏み、着実に、“ステップアップ”している“今”は、とても貴重な経験をさせて頂いているんだと、心より感謝しております。

以前の私は、“挑戦”することに躊躇している部分がありました。しかし、今では、何事にもまず、“挑戦”してみることに、“喜び”を感じられるようになりました。

まだまだ、成長途中の私ではありますが、これからも皆さんと一緒に考え、自分なりの気づきを大切にしつつ、ウィットの看板娘(笑)として、成長出来ればと思います。

少し長くなりましたが、上記に込めた想いが私の今の感想です。

これからも、いろんな事に“挑戦”していきたいです。ウィットイベントでの裏方仕事も大好きですよ。とても楽しく活動させて頂いております。

11月のイベントも成功するように尽力を尽くしますので、よろしくお願い致します。

加子幸子

女性会議ウィットには、3つの特徴があると考えています。

1、全体として～“人”の心が開放され、だれもが排除されない、しない思想～

女性会議ウィットでは、常に自主選択が尊重されています。

例えば、他の団体が主催する事業や自主事業、同じように活動についても内容や心情的に参加するか否かは会員ひとりひとりの意思によって行動しています。それを強制することもないし、参加しないことを否定されることもありません。そのような環境が整っているため、そのような場面があっても快く、自然な環境で選択できます。

2、どのような場か～自由が守られた居心地のよい“場”～

女性会議ウィットの定例会をはじめ、様々な活動の場であっても、まず相手の意見を聴きさらにお互いの意見が交換できる場があります。お互いに、人の上下関係を作ることがなく、また職業や居住環境など個人を取り巻く関係は、その人の意見とは関係がありません。そのように自由に一人の“人”として“人”の意見を聴き、話し合いが闊達にできる場所です。

3、いつも拓かれている中間的な役割

女性会議ウィットの各メンバーはそれぞれに自分の気にかかるテーマや問題意識があります。それはまったく異なったものです。それぞれが個別のテーマによる活動もしながらその活動を理解し、意見交換をしながらその都度、女性会議ウィットとして協力する環境が整っています。

例えば、地域福祉であったり、環境問題であったり、教育であったり、障害者の問題であったり共通する点とそうではない点があります。

そのうえで、それぞれの中間的な役割に位置して繋がったり、広がったりしています。

以上のように、“人”が尊重されている会であることは、男女平等はもちろん、どんな“人”であつてもともに現在の時間を生きている“人”として包み込んでいる環境づくりに重要な視点が女性会議ウィットの強みであると考えています。

会員K.

ウィットの会員だということが元気のもと。誇りです。

村瀬先生の講座で、夫婦の人生が前向きに拓かれた。

ウィットの定例会で心がやすらげて、生き延びている源となっている。自己尊厳を生み出してくれる。

佐治さんの存在がすばらしい。

平野利依

ウィットは、一言でいえば、**ダイバーシティ**(多様性)です。

この地域にあつて、それぞれのフィールドを持ち、それぞれの立ち位置から、疑問点を自由に発信しています。そのことに耳を傾け、気づきを得て、それはどういうことか、学びあいます。

誰もが幸せであるために、考え続け、行動する仲間たちです。

誰かを傷つけ、犠牲の上には、世界の幸せも個人の幸せもありえません。

以上で、女性会議ウィットW I T 団体紹介/活動発表を終了いたします。

ご清聴ありがとうございました。

第8回男女共同参画フェスティバル開催報告

1 概要

日時	平成27年8月30日（日）10:00～14:30
場所	田原文化会館多目的ホールほか
テーマ	「女性チャレンジの応援はまず家庭から」
開催内容	○市民活動団体等による活動発表 ○家族をテーマとする映画上映 （上映作品「ぼくたちの家族」監督／石井裕也）
参加団体	市内外で活動する個人・市民活動団体21団体
来場者数	約500人

2 状況写真



▲オープニング



▲懇話会会長あいさつ



▲市長あいさつ



▲多目的ホール内ブース出展



▲多目的ホール内出展ブース



▲多目的ホール内パネル展示



▲文化ホール前バザー



▲文化ホール前バザー



▲ステージ発表



▲ステージ発表

3 懇話会委員意見

1 フェスティバル全体について

開催時間、場所	<ul style="list-style-type: none">○良かった。妥当。（「良かった、妥当」という意見多数）○おおむね今年の方法でOK。○第8回の開催になったけれど、タイトルから受ける認知度が低くまだまだ常日頃の活動に力を入れないといけないと感じた一日だった。○開催場所については、ステージが入り口から左側で最高だと思った。○受付も2箇所にして良かったと思う。
ステージ発表	<ul style="list-style-type: none">○良かったと思った。太極拳教室の時、懇話会の黄色ベストの皆さんと一緒にでき良かったと思う。○観客は興味深く見ていたと思う。○発表内容はよかったけれど、見ている人が少なかったので残念に感じた。○観衆が少なく、寂しく感じた。○少し少なかった。○太極拳のチームが去ると、場内がガランとしてしまう。この方式だとどうしてもこうなってしまう。良い方法がないか？模索中。○発表の順番は少し考えても良いかなと思った。（準備の事もあるが、体操みたいな事は途中に入れても良いかなと思った）○途中の休憩時間は、なしにして良かった。○途中の休憩は入れないほうが良い。来訪者が、多目的ホールを覗いた時に、ステージがガランとしてしまい、会場内に活気が感じられなく、興味をもって会場内に入っていただく機会が薄れてしまう。○昨年とステージを反対側にしたためか、声が良く聞こえた。○ステージ発表者の声と各展示ブースで説明を受けている方の声が混在して、ざわついた感が否めなかった。
ブース	<ul style="list-style-type: none">○良かったと思う。やはり20ブースは必要。○昨年より少し少ない出展数であったが、各ブースに余裕があり、良かったのではと思う。○コンパクトになっているが（数が減った）すっきりしていてよいと思った。○多少昨年と比べ少なかったと思うが、多目的ホール内においては、発表内容がよくわかったのではないかと思う。○食べ物の店がもう少しほしかった。○懇話会ブースが全く手薄になり反省。人の配置をしてなかったことが原因。

その他	<ul style="list-style-type: none"> ○映画上映前の各ブースの紹介をステージで行ったのはとてもフェスティバルらしさが出て良かった。 ○今回、映画を見に来られた多くの来場者がいる中でオープニングとして出展者紹介があったことで、多目的ホールへ来ていただく宣伝効果が得られたと思う。 ○フェスティバルにきてくれる人数が多くないので、開催時間、場所をギュッと圧縮する方がよいと思った。同じ空間で様子がわかりあえると思う。多目的ホールを使わない方法も考える。 例) ロビーと通路を最大限使って開催する。 ○男女共同参画に関する(今年度のテーマなど)展示、パネルとか訴えるものがあったのもよかったと思う。
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 映画「ぼくたちの家族」上映について

開催時間	<ul style="list-style-type: none"> ○妥当。午前中映画上映は良かった。(「妥当、良かった」という意見多数) ○午前中映画で午後ステージ発表も流れが出来て良いと思った。 ○午前にして良かったと思う。終了時間的にもそのまま出展ブースでの買い物や見学につながっていたのではないかと思う。
映画の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○よい作品だと思った。入場者からはおおむねよい作品との感想あり。 ○事前に割り当てにより上映券を配布した職場のスタッフからは良かったとの声を聞いている。 ○はじめ、少々重たい内容かなと思われたが、現実的であり自分自身考えさせられる内容で、他の人からも他人事ではなく考えるところがあり、良かったという感想をいただいた。この映画をもっと男性にも見てほしいと感じた。 ○個人的には良かったが、昨年度の知名度と比べると少しさみしかった。 ○事前上映を含め見ていない。
その他	なし。

第8回男女共同参画フェスティバル 来場者アンケート結果

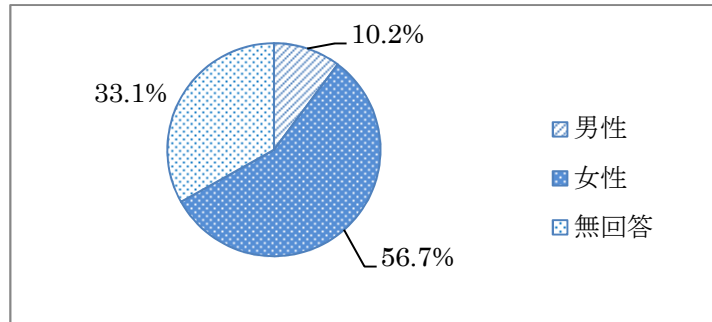
資料3-3

■ イベント概要

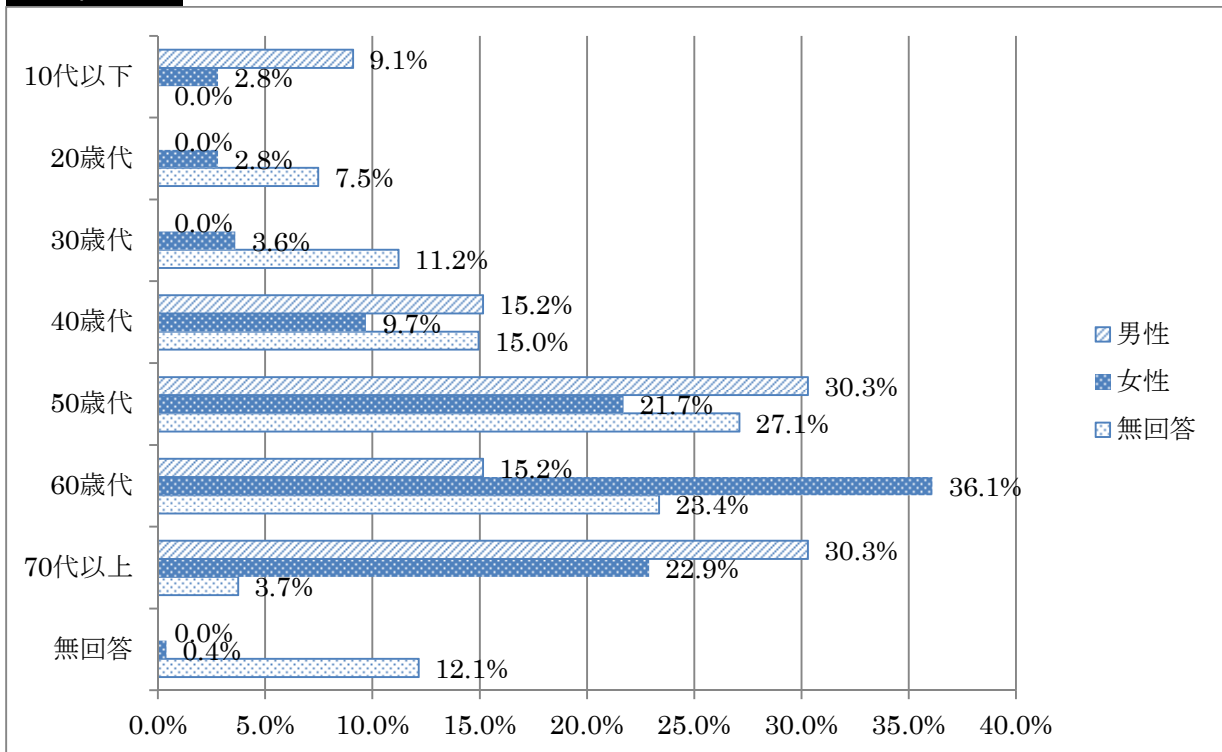
日時・場所	平成28年8月30日（日）10:00～14:30@田原文化会館
全体来場者延べ人数	約500名
アンケート回収数	323（回収率：64.6%）
参加団体数（人数）	21団体（104名）
映画入場者数	239名（昨年度：330名）

1 性別

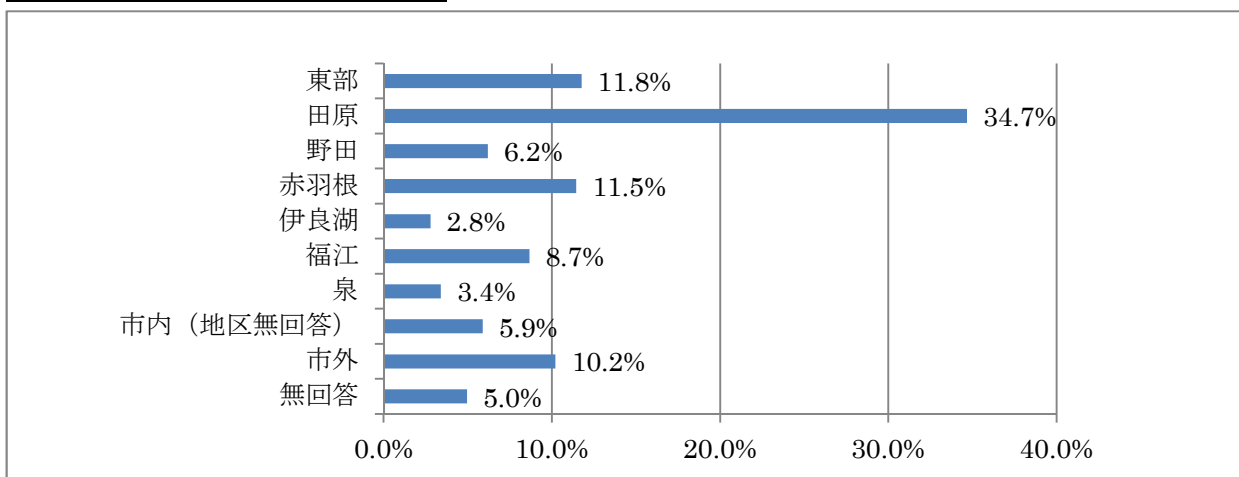
男性	33名（10.2%）
女性	183名（56.7%）
無回答	107名（33.1%）
合計	323名



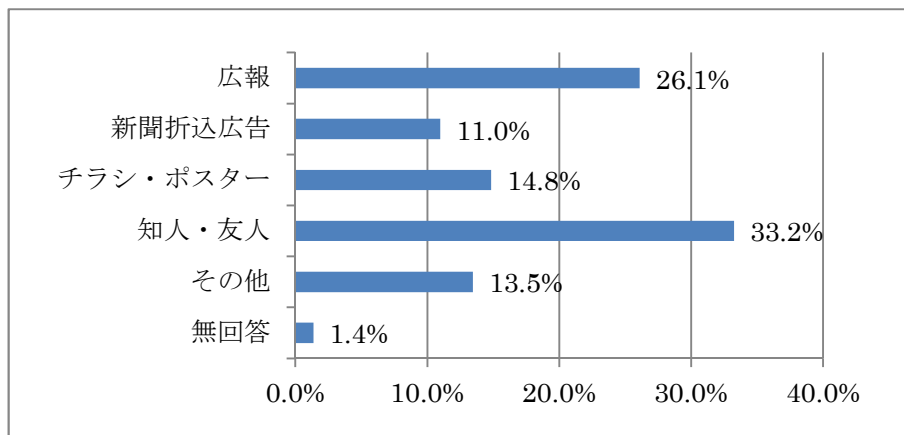
2 年代



3 どちらにお住まいですか？



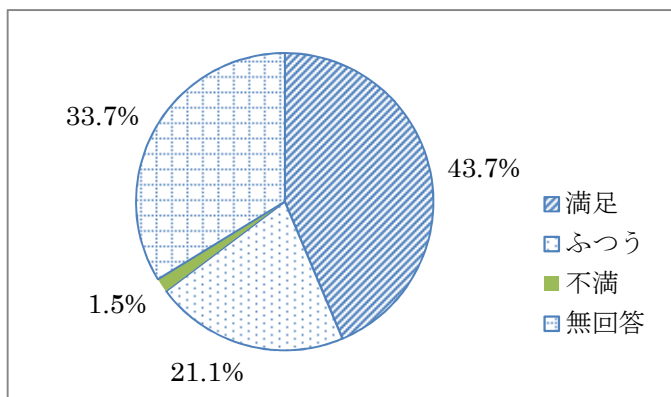
4 フェスティバルをどこで知りましたか？



「その他」の主な内容

- 参加者・参加団体
- 図書館・文化会館来館者
- 家族

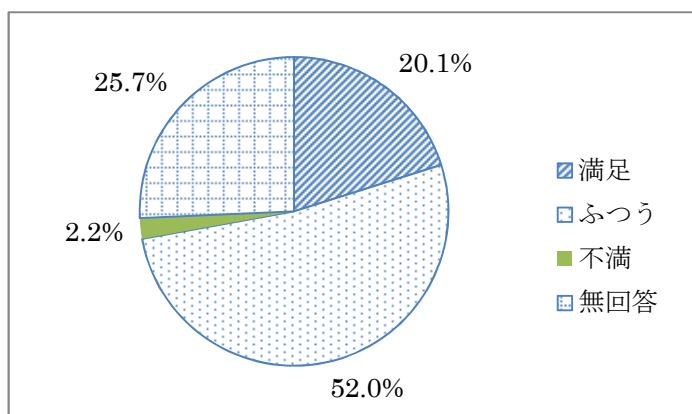
5 フェスティバルはいかがでしたか？（映画上映）



「不満」の主な理由

- 入っていいのかわからない

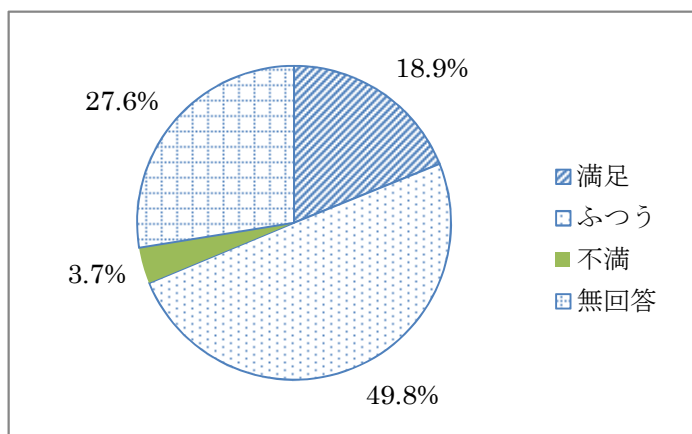
（バザー内容）



「不満」の主な理由

- 出展数が少ない

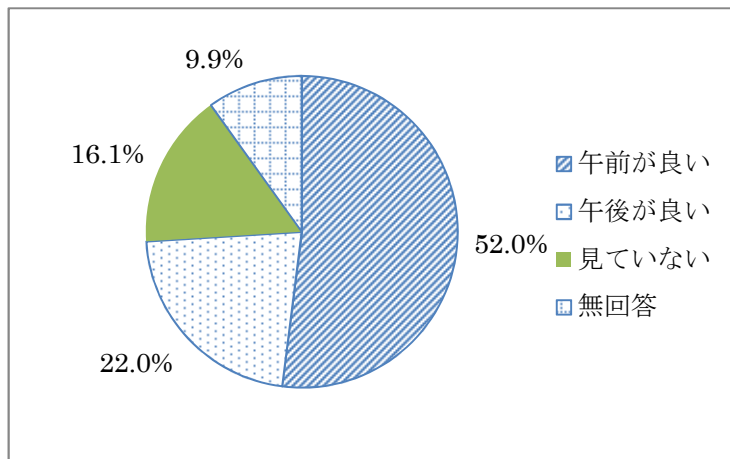
（出展ブース）



「不満」の主な理由

- 出展数が少ない

6 映画上映の時間帯はいかがでしたか？



「午前が良い」の主な意見

- 早く見たいから
- 予定が立てやすい
- 映画を見てからバザーなどによれる

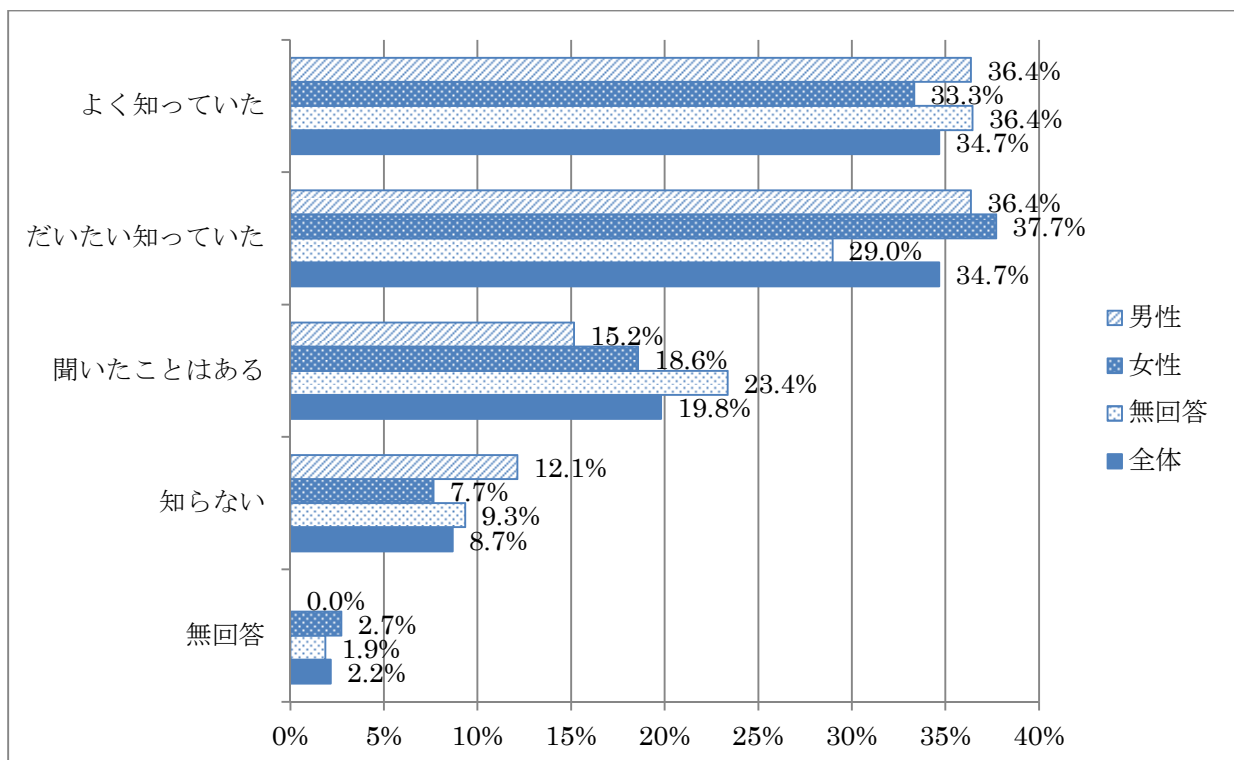
「午後が良い」の主な意見

- 時間に余裕があるから
- 午前中は家事などで忙しい
- バザーを見てからの方が良い

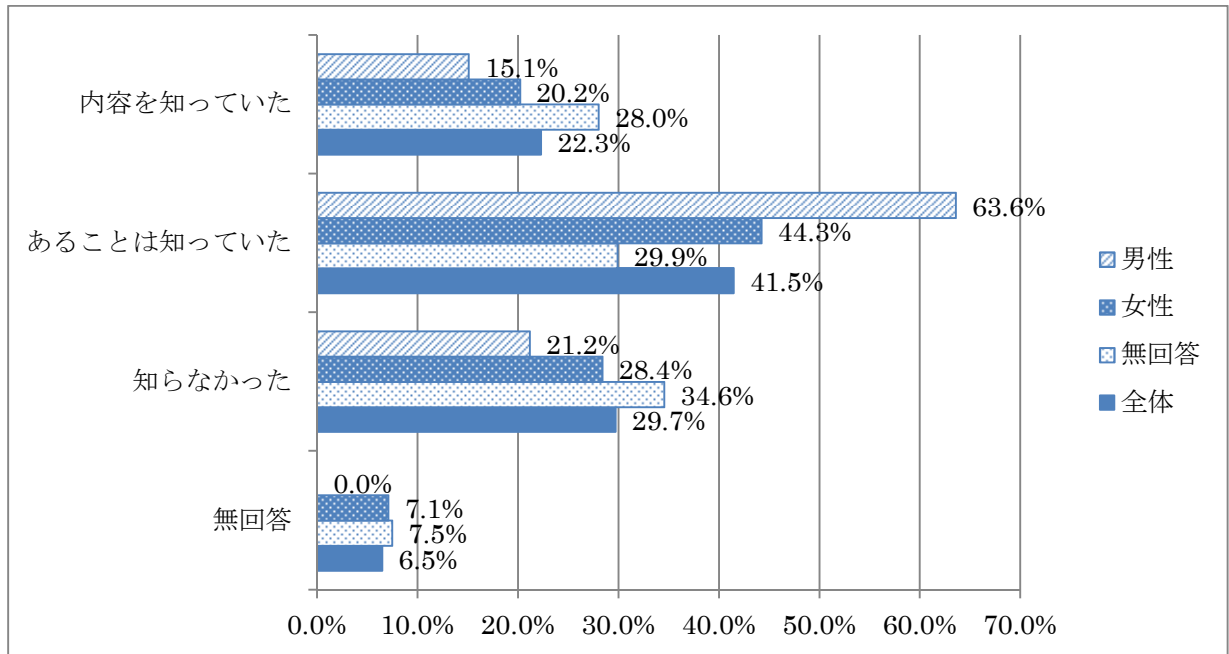
7 次回見たい映画作品はありますか？

- | | |
|-----------------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> アニメ | <input type="checkbox"/> 「風に立つライオン」 |
| <input type="checkbox"/> 子ども向けにしてほしい | <input type="checkbox"/> 「おかあさんの木」 |
| <input type="checkbox"/> 楽しい内容 | <input type="checkbox"/> 「父とくらせば」 |
| <input type="checkbox"/> 動物の出て、ほのぼのしたもの | <input type="checkbox"/> 「生きる」 |
| <input type="checkbox"/> ホームドラマ | <input type="checkbox"/> 「ヒーロー」 |
| <input type="checkbox"/> 家族愛をテーマとしたもの | <input type="checkbox"/> 「ウッジョブ」 |
| <input type="checkbox"/> 認知症を扱ったもの | <input type="checkbox"/> 「じんじん」 |
| <input type="checkbox"/> 昔の映画 | <input type="checkbox"/> 「おりうめ」 |
| <input type="checkbox"/> 戦争映画 | <input type="checkbox"/> 「明日の記憶」 |
| <input type="checkbox"/> あいち国際女性映画祭出展作品等、海外作品 | <input type="checkbox"/> 「神様のカルテ」 |
| <input type="checkbox"/> 「ペコロスの母に会いに行く」 | <input type="checkbox"/> 「はだしのげん」 |
| <input type="checkbox"/> 「しあわせの黄色いハンカチ」 | <input type="checkbox"/> 「日本のいちばん長い日」 |
| <input type="checkbox"/> 「あん」 | |

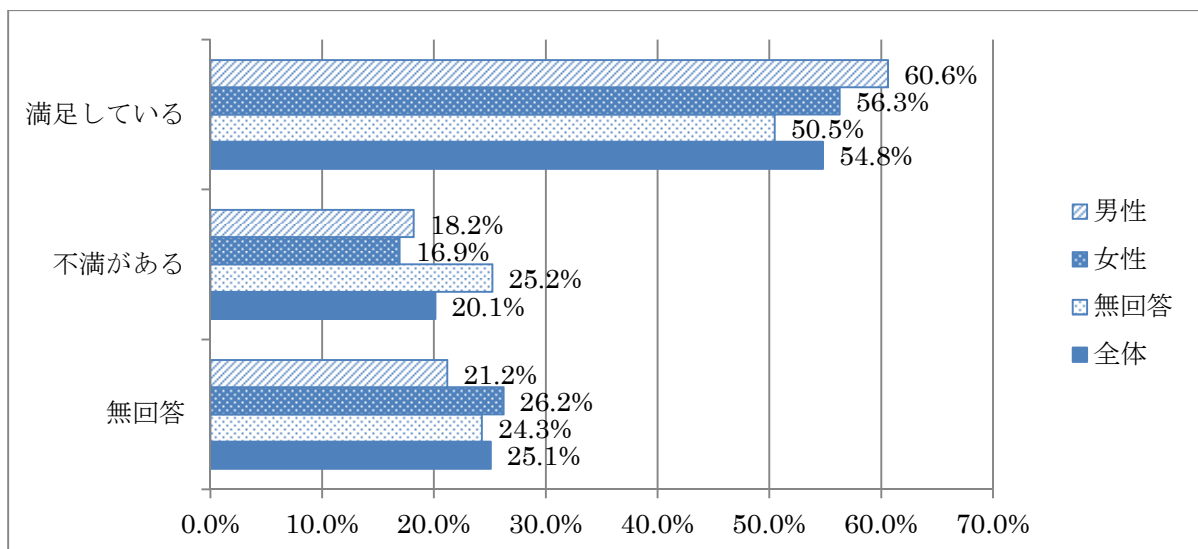
8 「男女共同参画」という言葉を知っていましたか？



9 「田原市男女共同参画推進プラン」を知っていましたか？



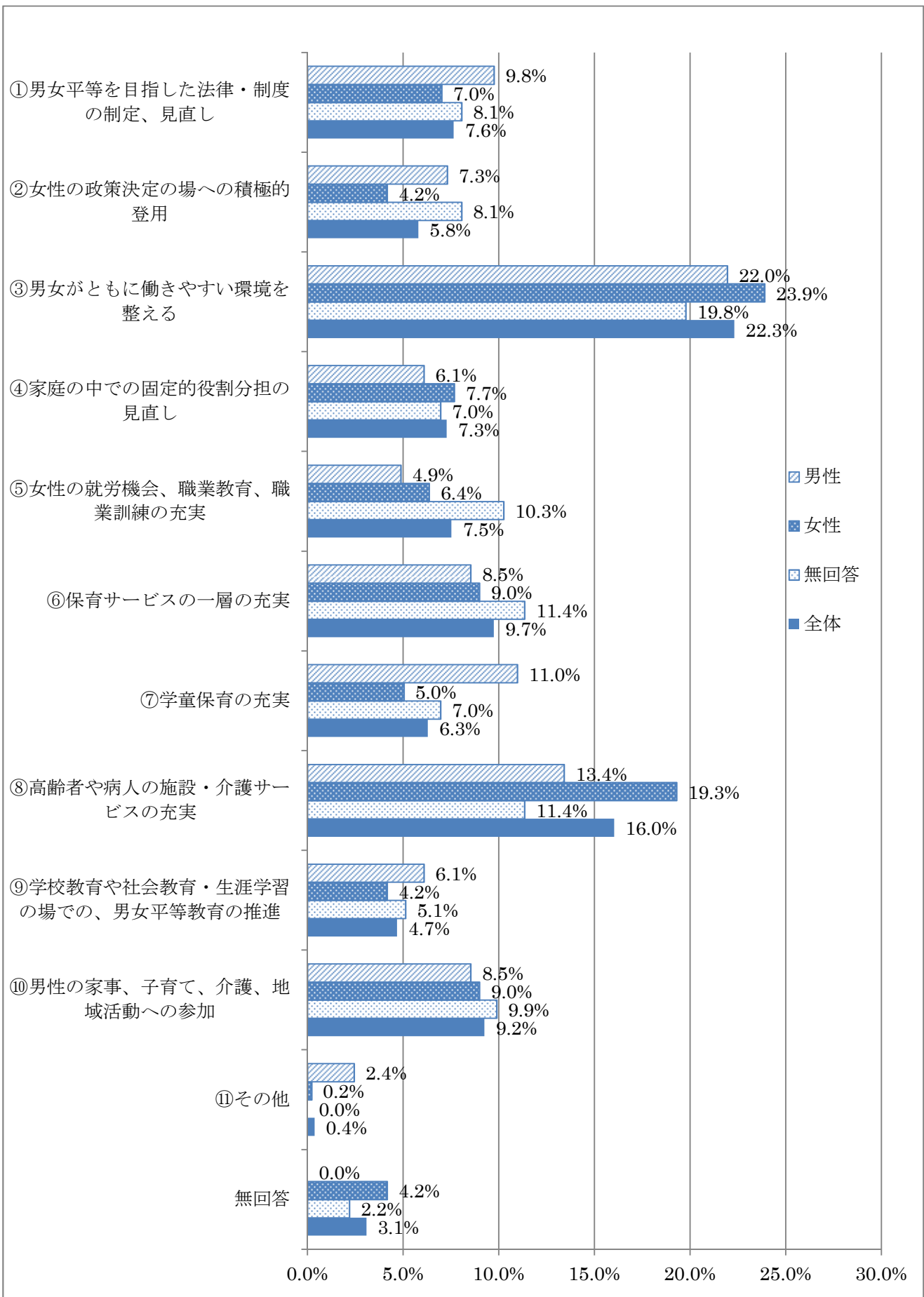
10 男女共同参画社会の現状（実態）に満足していますか？



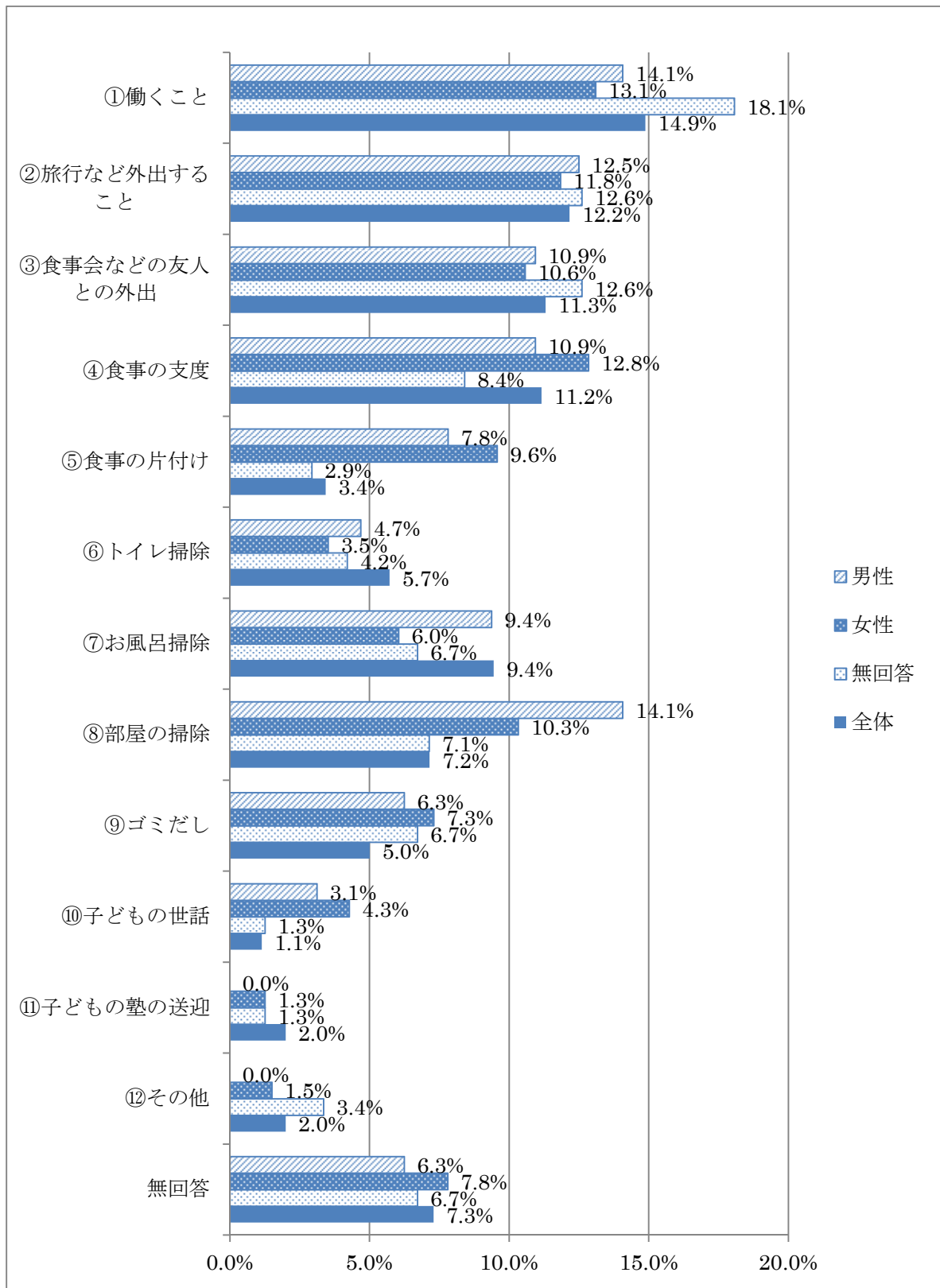
「不満がある」主な理由

- まだまだ男女平等ではないと思う
- 社会全体として制度が整っていないと思う
- 保育所・産院の不足など女性にとって必ずしも優しい環境ではないこと
- 地域の中では女性が軽く見られている
- 女性との理由で参加機会がない場合がまだある
- 男女の意識、考え方に差がある
- 事実としては格差がある
- 男性優位の意識は依然としてある
- 女性の収入の低さ
- 女の人のほうが仕事+家事で忙しい
- 育児休暇がとりづらい
- 夫の労働時間が長いと、家事の協力をたのめない
- 職場内での理解、協力不足があると思う
- 輝く女性は一部
- 男女とも権利の主張よりお互いの理解が先

11 男女共同参画社会の推進のため、最も重要だと思うものは？（複数回答可）



12 あなたが家庭で応援して欲しいこと、応援してあげたいことは？（複数回答可）



「その他」の意見

- 家事全般
- 家事の分業
- 食器片付け
- 草取り
- 子どもの勉強の手伝い
- 介護
- 高齢者施設の充実
- 子どもたちと同じ家に住んでいないので要望があれば何でもしてあげたい
- 家庭内の相談事
- コミュニケーション
- 平等感をともなったことばかけ
- 互いに理解し合う事が大切
- 1~12すべて
- なし
- 自分のことは自分でする

その他意見（フェスティバル全体について）

（年代・性別）

- 楽しかった。（10代男性）
- 今後もこのような企画を積極的に作ってください。（40代不明）
- 来てよかったです。（不明）
- 来年もきてみたい。（60代男性）
- 多くのグループを巻き込み参画されている事すばらしい。これからも期待します（70代男性）
- 文化ホール出展紹介の順と、プログラムの順が合っていないのはなぜですか？（50代男性）
- 男の人にもイベントに参加してほしい。（70代女性）
- 気軽に参加できるものがあれば見たい。（60代女性）
- 動いている人の数が少なくて、少しさびしい気がした。（60代女性）
- もう少し、人があつまれば良かったと。（40代女性）
- 9時50分に来場しましたが、駐車場は立体、平面ともに満車、グラウンドに停めました。主催者側のスタッフの駐車場を見直すべきではないでしょうか？（出展者含め）図書館利用者も困ると思います。（50代女性）

その他意見（映画上映について）

（年代・性別）

- 思いがけずみた映画でしたが、とても良かったです。身につまされました。（60代男性）
- 自分の身にもおこることなので、良い映画でした。（60代女性）
- 男女平等は永遠のテーマ。余命一週間なら治療しない。（70代女性）

その他意見（男女共同参画社会全般について）

（年代・性別）

- 女性の力をもっと活用する取組を地域ですすめるための施策（婦人会のような組織？）自治会やコミュニティに入れる。（50代男性）
- 家庭で家事や子育てに取組むことの重要性をもっと啓発してほしい。地位向上＝仕事ではないと思います。（50代男性）
- 来年度から時短制度を利用して仕事復帰します。そのあと子育てしながら仕事が続けられる環境になっていると嬉しいです。（30代不明）
- 意見をした所で何もかわらない。自分ががまんするだけのことなので。（40代不明）
- 我が家は夫についてはとても協力的でとても助かっています。（50代不明）
- 具体的に、例えば家庭で何を応援してほしい、というよりも、まずはお互いに相手の気持ちをくみとって応援してあげることが大事だと思います。（50代女性）
- 女性の住みやすい世の中になりました。男性達がんばってください。（60代不明）
- コミュニケーションの場所、気軽に行ける場所がほしい。（60代女性）

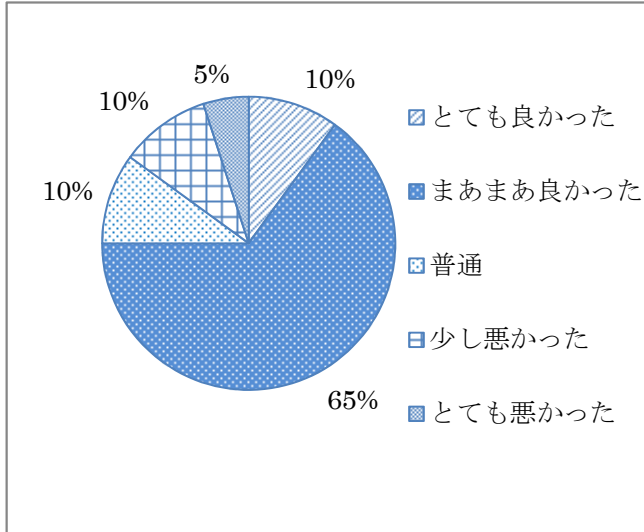
第8回男女共同参画フェスティバル 出展者アンケート結果

資料3-2

■ イベント概要

日時・場所	平成28年8月30日(日) 10:00~14:30@田原文化会館
アンケート回収数	20 (回収率: 95%)
参加団体数(人数)	21団体(104名)

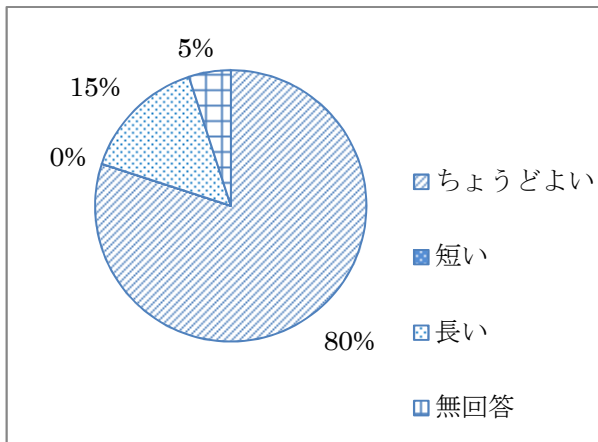
1 参加してみてどうだったか



意見

- 主催者と参加者のみのフェスティバルだと感じた
- 男女共同参画の運動が一年間どう進展したか分かるようなチラシかポスターがあればと考えます
- 関係者○市職員が大半。他の人が来ないと意味が無い
- 会場が離れていること、また事前申込が必要ということで、一体感は感じられなかった。少し、講座の開催方法を工夫する必要があると感じました。(例) キッズ野菜ソムリエたちが男女フェス会場を回れるような仕組みづくり。
- 輝きネットやアドバイザーも出展しているので、協力等できるとよかった。
- 昨年に比べ、お客さんの入りが少なかった

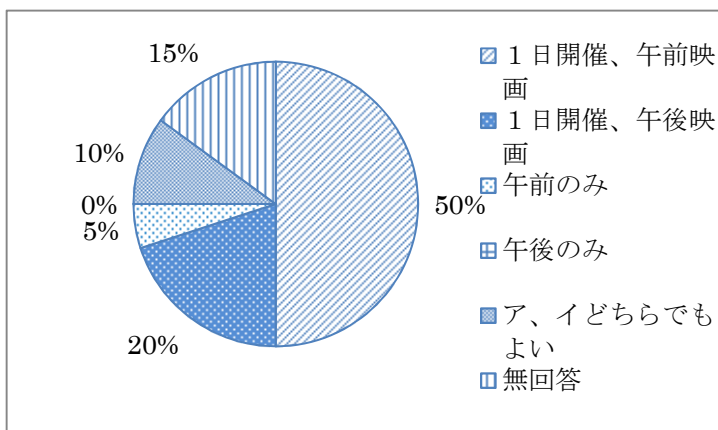
2 開催時間はどうだったか



意見

- 午後はお客さんが少なく、早く帰ってしまいすみません。
- 人の状況をみれば長い。

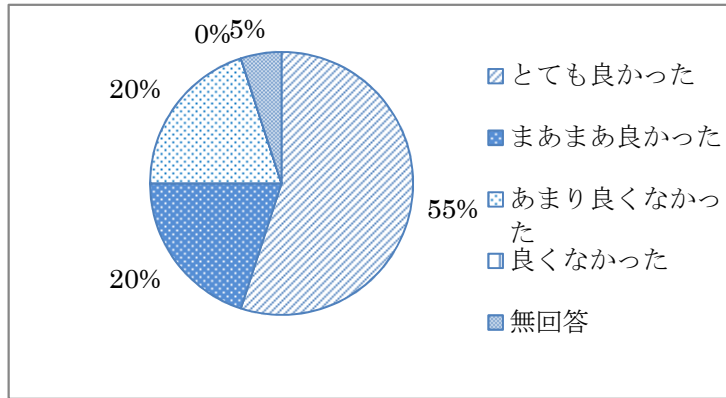
3 開催時間帯



意見

- 午前映画はOK。
- 午前午後で映画の2本立てはどうでしょう。
- 今の人の状況では午前のみが良い。
- 映画だけ観て帰られる方も多かったので、午後上映の方が良いと思う。
- 午前10時~午後1時がよい。
- 多目的ホールへの動員が少なかったように思います。

4 出展場所



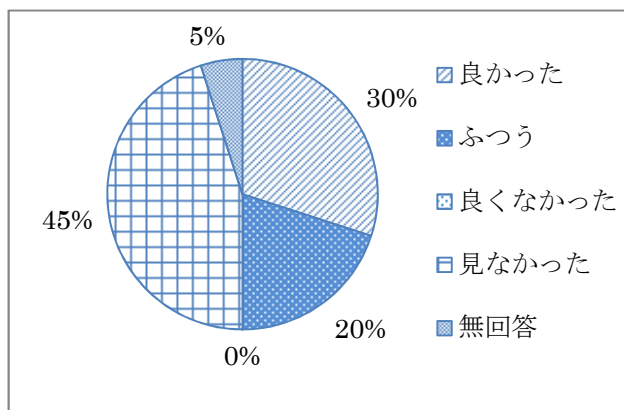
4-1 「よくなかった」理由

- 人が思うように集まらなかった
- スペースが狭かった
- 隣のブースとの距離が近すぎた

5 資材

○今回は、脚立に看板をはりつけて、通路側に設置したところ、パネルより注目度が高かったです。
○今回テーブルも使わなかったのですが、やはりテーブルを出し手にとって見ていただける物を用意しておけば良かったと思います。(なかなか奥まで入って来てもらえないので)

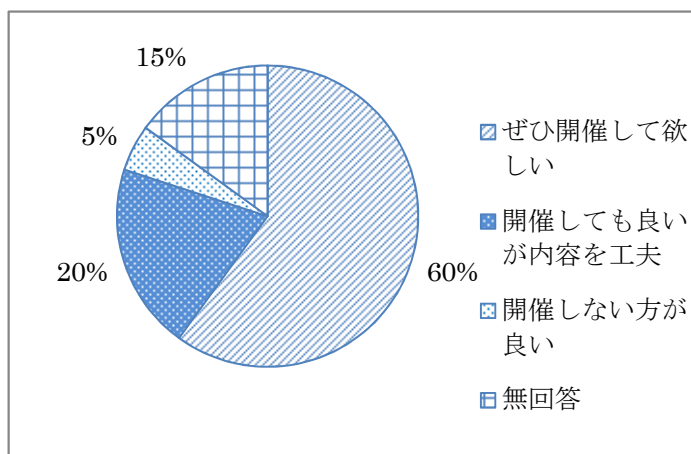
6 映画上映はどうだったか



意見

- ブースを空けることができないため（他の部員は皆見た）
- 事前に映画を見せて頂いた事がよかった。
- 作者のねらいなど訴えたいことが分かりにくかった。

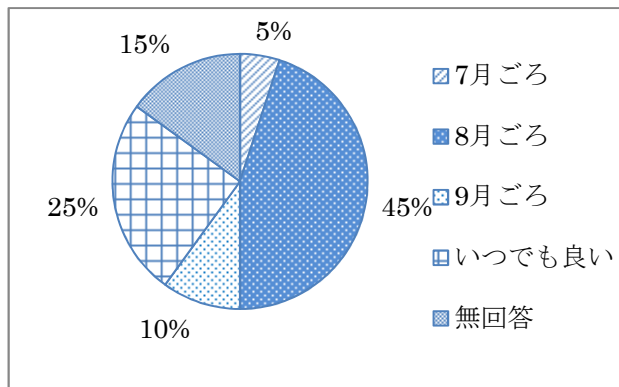
7 次回の開催について



意見

- 他のイベントでの同時開催（人が来ないとPRにならない）
- 子ども連れで参加するイベント内容を加えていただきたいと思いました。
- 男性の参加者が少ないのが残念です。
- 男女共同参画という言葉自体が良くわからない、時代に合っていないという声を良く聞きます。本来は「しみのひろば」と統合したほうがいいのではないかと思います。
- 展示や発表ではなく、分科会方式も検討のうち。

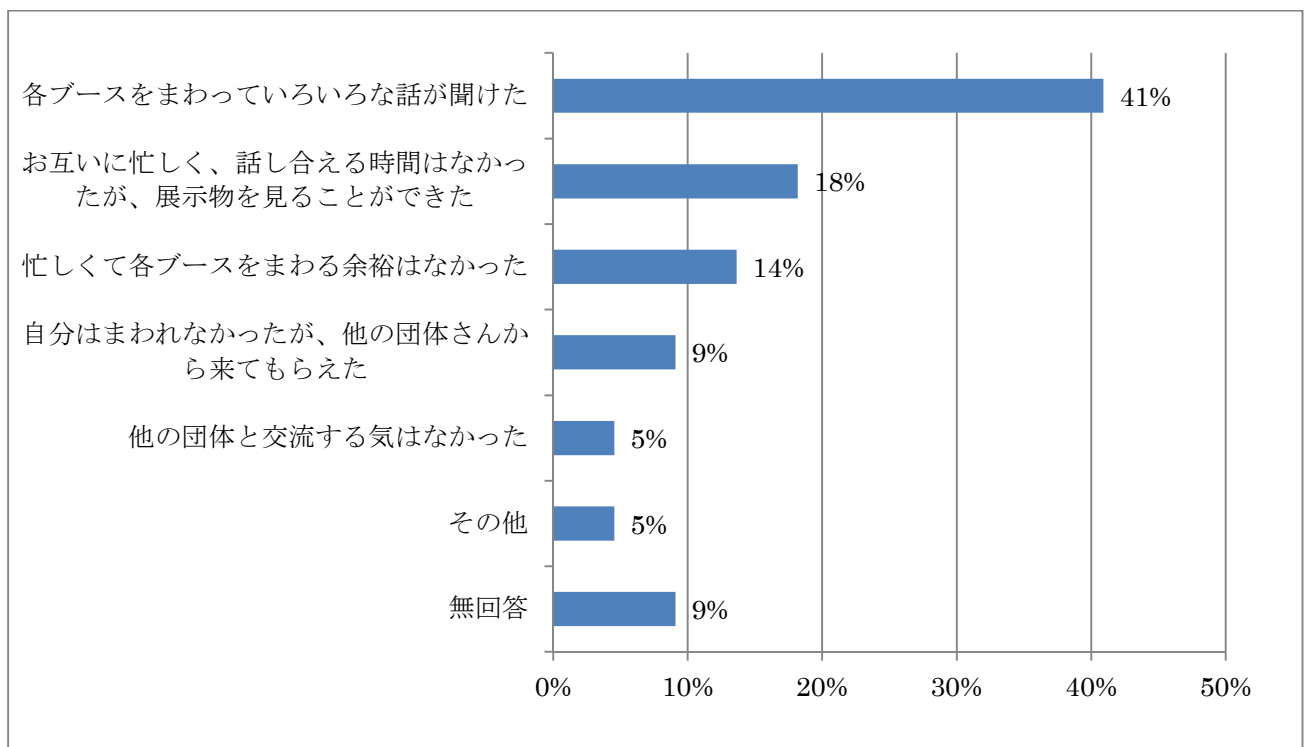
7-1 開催時期はいつごろが良いか



意見

○時期を再検討するにしてもほかのイベントなどあり難しいと思います。

8 他の団体と交流できたか



意見

- 近隣のブースの団体の方と交流できました。
- 団体内のボランティアが交代して交流も出来た。

その他意見（フェスティバル全体について）

- 男女共同フェスティバルが何を目的とし何の為に開催されているのかの主旨が市民（参加者）にもあまり理解されていない。
- 何回か参加させて頂いているが年々ブースを構える数も減っていて内容を工夫しながら毎回開催してくださっているとは思いますが結果を見て判断をすることも必要かと思う。
- 映画が目的なのかフェスティバルが目的なのか来場者を見ていると本末転倒なのではと思ってしまう。
- 「男女共同参画」と声高に叫ばずとも時代はすでにそのように動いており、又市民もそれぞれに自由に個性を楽しみながら生活をしているように思える。
- 大きなテーマを持ったイベントなので、焦点が見えにくい点もあるのかも。わかりやすいメッセージを

かかげたり、最も訴えたいポイントを明確にするのはどうか？

○全体に言える事ではあるが、年間いろいろな催し物があるがどれもこれもとは言わないが、あまりパツとする物が無い。1つか2つにしぼり一極集中型？にしても良いのではと思う。

○田原まつりなど他のイベント時に、ワークショップ、映画、分科会など参加型にするのも一つの案として検討してはいかがでしょうか。

○参加団体が少ないのでもっと多くの団体に声かけてほしい。

○参加団体が、当初開催したころに比べて少ない。

○開催場所が旧田原町なので、渥美地域の参加が少ない。

○出展者としては、映画会前の大ホールでの、はじめの紹介はたいへんよかった。

○終了の時間をずいぶんくり上げてしまったように思います。天候のこともあり一部の団体が片付け始めたら次々と片付けがはじまり、告知の時間を守った方が良いのでは？

○大ホールのみのもりの参加者が、出展場所も参加が今年よりももっとふえる工夫をしてほしい。

○花育体験に初めて取組みましたが、たくさんの人に来てもらえて、手ごたえを感じました。メンバーが持参したチラシ（婚活、花の超祭典）を置く場所が無くて困ったので、各団体さんが関わっているチラシを配布するコーナー（自由に持っていける）があるといいなと思いました。

○全体的に、今ひとつ活気がなかった気がする。

○当日配布されたプログラムA 4半折り黄色のリーフレットについて、普通きちんと半分折ってありますが、これは折り方に配慮を感じました。中央がちょっとずらして開きやすくなっていて素敵！

○継続して行くことの難しさもある中で今年も全体雰囲気としてはよかったですね。ご尽力ご苦労様でした。更に向上目指して…。

その他意見（出展ブース）

○物品販売は好評でしたね。どこも完売近くまで行って…すごい！やっぱり買い物には皆さん興味があるみたい。

○様々な皆さんの活動が幅広く継続して発展しており嬉しいです。参加者の皆さんも男女の違和感が意外と無くなっているように感じました。

その他意見（ステージ発表）

○1番の体操は楽しく人気もありましたね。各地でご当地体操が作成されつつある昨今。田原市にも田原体操なんて…いかが？共同参画体操なんて言うのも…いかが？

○舞台での健康体操の時は、多目的ホール全体が参加していましたが、その後の活動発表になったら、聞く人も少なくなってしまうからせめてイスの数ぐらい人集め出来ればと思いました。

○プレゼンでは会場内が明るくてスクリーン（画面）が見づらかったです。やっている人は真剣でも観客を魅了させる域には、もう1工夫かな？例えばですが、参画芝居とかお笑い物など入ると「動」「静」入交じり、発表全体のアクセントが出たかな？

○午後の多目的ホールでの発表は、外のブースの人にも見えるように、大画面で放映したらどうか？

○発表はむしろ外（ロビー）で行い、多目的ホールは休憩場という案はどうか？

男女共同参画推進プランに基づく平成28年度実施予定事業

第1項 人権尊重と男女平等の意識づくり

■推進施策の成果指標

プラン頁	担当課	プラン事業名	事業内容	H28年度実施予定事業	
1	13	人事課	男女共同参画関連講座等の開催・支援 偏った慣習等の問題提起 他	男女共同参画職員研修の実施 (対象者、実施時期未定)	
1	13	市民協働課		<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画フェスティバルやほーもん講座等を開催するとともに、パンフレットや広報誌を作成・配布し、あらゆる世代・立場の市民や市職員への意識啓発を行う。 ・市職員向け研修会等を開催し、職員の意識改革を行う。 	男女共同参画フェスティバル開催(8月予定) 市民活動団体と一般市民との交流、女性の生き方等をテーマとした映画上映、講演を通して、市民への意識啓発を図る。
2	13	子育て支援課	家庭相談事業	市役所子育て支援課及び渥美福祉センターに各1名家庭相談員を配置し、子どもの養育やDVなど、家庭内の諸問題に対して相談対応を図るとともに、要保護児童及び要支援家庭の見守り、訪問活動を実施する。	【継続】 通年どおり実施
3	13	子育て支援課	児童虐待防止事業	要保護児童対策地域協議会(代表者会議・実務者会議・個別ケース検討会議)の運営により、児童に関わる各機関の連携と役割分担を充実し、児童虐待等の早期発見と必要な支援、市民啓発を実施する。	【継続】 通年どおり実施
4	15	文化生涯学習課	青少年健全育成事業	地域づくり活動推進交付金として、校区の青少年健全育成活動を支援する。	【継続】 前年どおり実施
5	16	学校教育課	男女共同参画に関する教職員研修	教職員研修の中に、男女共同参画の視点に立った内容を盛り込む。	子どもたちの健やかな成長を願う会開催(6月予定) 教職員会、PTAと共同で開催し、各種の専門家の講演を通して、市民への意識啓発を図る。

第2項 誰もが参画のまちづくり

■ 推進施策の成果指標

プラン頁		課名	プラン事業名	事業内容	H28年度実施予定事業
1	21	地域福祉課	審議会、委員会等の女性の登用推進	民生・児童委員の活動を支援する。女性委員の割合に配慮する。	【継続】 平成28年度一斉改選あり。女性委員の割合に配慮していく。
2	21	地域福祉課	審議会、委員会等の女性の登用推進	保護司の活動を支援する。女性委員の割合に配慮する。	【継続】
3	21	地域福祉課	審議会、委員会等の女性の登用推進	人権擁護委員の活動を支援する。女性委員の割合に配慮する。	【継続】
4	21	教育企画室	審議会、委員会等の女性の登用推進	教育委員会委員の女性委員の割合に配慮する。	【継続】 平成28年度に2名が任期満了。現状女性委員数の維持に配慮していく。
5	23	市民協働課	地域活動への女性の参画促進	地域を代表する団体等の代表者・役員への女性の登用促進	【継続】 地域コミュニティ連合会等に対し、女性の地域参加を促進する啓発を進めていく。
6	25	防災対策課	防災に関するワークショップ、研修会等の開催	防災講習会、ワークショップ等に積極的に市民の参加を促進する。	【継続】
7	27	環境政策課	環境分野の会議等への女性の登用促進	環境分野への女性の参加、会議への委員登用を促進する。	【継続】 環境審議会委員、菜の花エコ推進協議会、たはらエコ・ガーデンシティ地域協議会の女性比率に配慮
8	27	環境政策課	地域団体における環境啓発活動	NPO団体の支援、育成を行う。	【継続】 NPO団体の女性会員比率に配慮

第3項 生涯安心の暮らしづくり

■推進施策の成果指標

プラン頁		課名	プラン事業名	事業内容	H28年度実施予定事業
1	35	健康課	健康づくり事業	健康に対する意識を啓発するとともに、健康について見直す機会を提供する。	【継続】 健康まつりの開催 健康マイレージ事業を商工会共通カードと連携し実施する。
2	35		特定健診後の保健指導	特定健診受診結果により保健指導を行う。	【継続】 通年どおり実施
3	35		健康診査及びがん検診	健康診査、人間ドック、各種がん検診、骨粗しょう症検診、歯の検診等を実施する。	【継続】 がん検診受診率向上対策として未受診者に対するコールリコール事業を開始する。これにより、働き盛り世代や子育て世代への検診推進を図る。
4	35		健康教育	病態別教室、運動教室、人間ドック説明会、健康講座等を実施する。	【継続】 学校と連携し、小学生へのがん予防教育を推進する。受診率向上推進サポート企業の登録を拡大し、従業員の受診しやすい環境づくりのための連携強化を図る。
5	35		訪問指導	健診の結果、生活習慣の改善の必要な方等に訪問指導を実施する。	【継続】 通年どおり実施
6	34		健康診査の実施	4か月児・1歳6か月児・3歳児を対象に健康診査、栄養相談、歯科健診等を実施する。	【継続】 子育て支援型の健診となるように体制を整え、実施していく。
7	34		母子健康手帳交付	母子健康手帳の交付とその活用法を紹介する。	【継続】 ハイリスク妊婦の把握を行い、予防的な支援体制を強化する。
8	34		パパママスクール(育児体験コース)	パパの妊婦・育児体験等を通して男性の育児参画を促進する。	【平成27年度から廃止】 参加者数の伸びがなく、医療機関で同様の講座が開催ある。また、ハイリスク家庭には家庭訪問で指導していくため、リスクの高い家庭への指導を重点的に実施していく。
9	34		育児相談	妊産婦、乳幼児を対象とした身体計測、健康相談、栄養・母乳・離乳食及び歯科等の相談を実施する。	【継続】 通年どおり実施
10	34		家庭訪問	妊産婦、新生児、乳幼児のいる家庭へ訪問し、保健指導・身体測定・相談等支援を行う。	【継続】 虐待予防的な支援を乳幼児に限らず実施する。子育て支援課、地域福祉課、学校など他課と連携し、サービスから漏れてしまう家庭にも支援を広げていく。

第3項 生涯安心の暮らしづくり

■推進施策の成果指標

プラン頁		課名	プラン事業名	事業内容	H28年度実施予定事業
11	34		予防接種	乳幼児、児童生徒を対象に予防接種を実施する。 乳幼児:ポリオ、4種混合、3種混合、MR、BCG、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘 小学生:2種混合、日本脳炎 中学生:子宮頸がん、日本脳炎 高校生:子宮頸がん、日本脳炎	【継続】 引き続き任意予防接種(ロタ、風しん《成人》)の公費助成を実施する。 B型肝炎の定期予防接種化が予定されている。
12	34		外国出身ママお料理クラブ	日本食の調理実習などを通して外国人母子の交流を図り、地域や家庭での孤立を防ぐ。	【継続】 通年どおり実施
13	36	高齢福祉課	介護保険事業	要支援、要介護状態になる前に介護予防事業を実施し、要介護状態への移行を防止する	【継続】 介護を必要としない高齢者の割合を増加できるように介護予防事業を充実する。
14	36		介護保険事業	全高齢者を対象とする介護予防事業	【継続】 ボランティアの育成等を行ない介護予防事業を広げ、参加者を増加させる。
15	36		介護保険事業	地域包括支援センターによる総合的な相談支援業務を行う。(権利擁護事業、ケアマネジメント事業を含む。)	【継続】 地域包括支援センター3箇所、高齢者の支援体制を強化する。
16	37		介護保険事業(介護教室)	要介護者を介護する家族に対し支援事業を行う	【継続】 介護者の負担軽減を目的に介護教室を実施する。
17	37		高齢者福祉サービスの充実	社会的支援が必要な高齢者に対し、家事や軽作業など日常生活上の援助をすることにより、高齢者の自立した計画の継続を可能にする。	【継続】 シルバー人材センターの高齢者の就業の機会の提供と高齢者が安心して暮らせる環境整備を実施する。
18	37		高齢者福祉サービスの充実	調理が困難なひとり暮らし高齢者等を対象に、昼食を週5回届けることにより栄養改善並びに安否確認を行う。	【継続】 高齢者の栄養改善並びに安否確認の目的で実施する。
19	37		高齢者福祉サービスの充実	高齢者の使用している寝具を、乾燥消毒し、衛生管理を行う。	【継続】 高齢者が安心して生活できる環境整備と家族の負担軽減を目的に実施する。
20	37		高齢者福祉サービスの充実	65歳以上の高齢者等が、在宅で生活をしやすいように住宅を改修する費用の補助を行う。	【継続】 高齢者が安心して生活できる環境整備を目的に実施する。
21	37		高齢者福祉サービスの充実	認知症や知的障害等により福祉サービスを利用する際の権利を守るため成年後見制度の利用支援を行う。	認知症や知的障害等により福祉サービスを利用する際の権利を守るため成年後見制度の利用支援を行う。

第3項 生涯安心の暮らしづくり

■推進施策の成果指標

プラン頁	課名	プラン事業名	事業内容	H28年度実施予定事業
22	地域福祉課	障害者生活支援センター	市内で生活する障害者の方が自立した生活ができるよう支援する。センターは赤羽根福祉センター内に事務所を設置し、運営を事業所(さわらび会)に委託する。業務内容は、生活・就労支援、福祉サービスのコーディネート、障害福祉サービス体験、各種教室、サロン事業の開催など	あり方の見直しを検討
23		レスパイトサービス事業	障害児を持つ親の介護負担の軽減と障害を持つ本人の社会性の向上、生活習慣を身につけることを目的としたサービス。日中レスパイトは、長期休暇(夏・春・冬休み)、赤羽根福祉センター、あつみライフランドにて開催、定員5名。宿泊レスパイトは、毎月第3金曜日、Villaうえ～ぶにて年間12回、定員2名。	障害児を持つ親の介護負担の軽減と障害を持つ本人の社会性の向上、生活習慣を身につけることを目的としたサービス。日中レスパイトは、長期休暇(夏・春・冬休み)、赤羽根福祉センター、あつみライフランドにて開催、定員5名。宿泊レスパイトは、毎月第3金曜日、Villaうえ～ぶにて年間12回、定員2名。
24	子育て支援課	母子父子家庭相談事業	母子・父子自立支援員1名を市役所子育て支援課に配置し、日常生活、児童の養育、就業等についての相談に対応する。	【継続】 通年どおり実施
25		母子自立支援事業	母子父子家庭の自立を促進するため、就職に必要な知識、技能を修得しようとする母等に対して自立支援給付金、高等技術訓練促進費を支給する。	【継続】 通年どおり実施
26		母子家庭等日常生活支援	母子家庭等の日常生活を支援するため家庭生活支援員(ヘルパー)を派遣する。(支援内容:家事、育児)	【継続】 通年どおり実施

第4項 働きやすい場づくり

■推進施策の成果指標

プラン頁		課名	プラン事業名	事業内容	H28年度実施予定事業
1	40	商工観光課	事業所に対する男女共同参画の啓発	事業所へ法制度紹介及び女性の労働条件の向上に向けたパンフレット等を配布し、情報提供を行う。	企業や商工会並びに渥美半島観光ビューローを通じて、男女共同参画についてのパンフレット等を配布し、情報提供を行う。
2	40		企業への意識啓発	企業や商工会へ講師を派遣して、男女共同参画についての講話を実施する。	
3	43	文化生涯学習課	児童クラブ(学童保育)	保護者が就業等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対して、児童クラブを設け、指導員による遊びの指導や生活の場の提供を行う。 (平日:放課後～午後6時、隔週土曜日・夏休み等:午前8時～午後6時)	【継続】 通年どおり実施
4	43		放課後子ども教室	小学校に就学している児童に対して、放課後子ども教室を設け、指導員指導の下、スポーツ・文化等の体験活動を行う。(平日:放課後～午後6時、隔週土曜日・夏休み等:午前8時～午後6時)	【継続】 通年どおり実施
5	43		児童館運営事業	児童健全育成の拠点的施設として、児童センターにて、児童厚生員による遊びの指導、親子関係へのアドバイス活動等を実施する。また、親子同士の交流の場として有効活用を図る。	【継続】 通年どおり実施
6	43	子育て支援課	ファミリーサポートセンター事業	育児の援助を受けたい人と育児の援助ができる人が会員となって、有償ボランティアにより子どもの預かりや保育園の送迎等一時的な育児支援を実施する。(料金:平日昼間500円/子ども1人1時間)	【継続】 事務を田原市社会福祉協議会へ委託し、通年どおり実施
7	43		一般保育事業	田原市に住所を有し保護者の就労や疾病等により保育に欠ける1歳6月以上の児童を、保護者の委託を受けて保育する。 ・平常保育(月～金曜日 8:30～16:30) ・自由保育(土曜日 8:30～12:30) ・早朝保育(7:30～8:30)	田原市に住所を有し保護者の就労や疾病等により保育を必要とする1歳6月以上の児童を、保護者の委託を受けて保育する。 【継続】 通年どおり実施 ※漆田(民間)、蔵王・赤石こども園:一般保育あり

第4項 働きやすい場づくり

■推進施策の成果指標

プラン員	課名	プラン事業名	事業内容	H28年度実施予定事業
8	43	子育て支援課	特別保育事業	<p>○長時間保育(第一、漆田、赤羽根、福江、伊良湖岬、北部) 16:30～19:00 (北部のみ16:30～18:00) 利用料 16:30～19:00 →2,000円/月、 16:30～18:00 →1,000円/月</p> <p>○延長保育 7:30～8:30(短時間保育対応、 全園) 16:30～18:30(北部) 16:30～19:00(第一、稲場、赤羽根、福江、伊良湖岬) 利用料(1か月) 7:30～8:30、16:30～18:30 30分当たり250円 18:30～19:00 30分当たり500円 ※漆田(民間)、蔵王・赤石こども園:延長保育あり</p> <p>○乳児保育(第一、漆田、赤羽根、福江、伊良湖岬) 生後10月～1歳6月未満</p> <p>○一時保育(南部、赤羽根、清田) 月14日以内(利用料 3歳未満1,500円/日、3歳以上1,000円/日) ※1歳6月以上の児童</p> <p>○乳児保育(第一、赤羽根、稲場、福江、伊良湖岬) 生後10月～1歳6月未満 ※漆田(民間)、蔵王・赤石こども園:乳児保育あり</p> <p>○一時保育(中部、高松、清田) 月14日以内、1歳6月以上の児童 利用料(日額) 市民 3歳未満児 1,500円 3歳以上児 1,000円 市民以外 3歳未満児 3,000円 3歳以上児 2,000円</p>
9	43		地域子育て支援事業	<p>地域の乳幼児を持つ親子を対象として、育児不安等の育児相談、親子の関わりの援助、子育てのアドバイス、仲間作り等の育児(子育て)支援を目的として事業を実施する。(中部保育園内ひまわりルーム・伊良湖岬保育園内なのはなルーム) 出張子育てひろば(赤羽根福祉センター、泉市民館で週1回開設)</p> <p>【継続】 通年どおり実施</p>
10	44	農業委員会事務局	家族経営協定の促進	<p>農家における休日や給与、仕事の役割分担と責任を明確にした家族経営協定の締結を促進する。</p> <p>【継続】 農家における休日や給与、仕事の役割分担と責任を明確にした家族経営協定の締結を促進する。</p>
11	46	農政課	農林水産業女性チャレンジ支援	<p>女性が農林水産分野にチャレンジできるよう、相談や支援、情報提供を行う。</p> <p>【継続】 女性が農林水産分野にチャレンジできるよう、相談や支援、情報提供を行う。</p>
12	46	市民協働課	起業、NPO、ボランティア等発足支援事業	<p>女性が市民活動にチャレンジできるよう、相談や支援、情報提供を行う。</p> <p>【継続】 女性の起業、市民活動チャレンジに関する情報提供を行う。</p>

推進体制

■ 推進施策の成果指標

プラン頁		課名	プラン事業名	事業内容	H28年度実施予定事業
1	48	人事課	市職員の男女共同参画に関する研修	市職員向けの男女共同参画に関係する研修を実施し、職員が各事業で男女共同参画の視点に立った事業実施を行うことを目指す。研修参加機会を男女の性差に関わらず提供し、女性リーダー養成研修等への参加を積極的に推進する。	○男女共同参画職員研修 対象者、実施時期未定 ○派遣研修メニューの充実
2		市民協働課	男女共同参画を推進する行政の会議の設置	プラン事業を総合的、効果的に推進するために、事業担当係長による田原市男女共同参画推進プランワーキングを設置し、各担当課のプランの進捗状況を把握する。	【継続】 ○庁内ワーキング会議開催(年3回) 各事業の担当課の取組状況を把握するとともに、全庁的な男女共同参画施策を推進する。
3	48 49	市民協働課	市民で構成する組織の設置	市民・団体・企業等からなる田原市男女共同参画推進懇話会を設置し、プランの進捗状況を把握すると共に、幅広い意見を徴収し、男女共同参画の推進に関し、調査審議する。	【継続】 ○懇話会開催(年3回) 各主体の取組状況を報告し、市民への啓発に取り組む。
4		市民協働課	男女共同参画に関する調査体制の整備	男女共同参画に関する各種情報を収集するとともに、市民意識調査を実施する。(平成28年度の計画改訂を意識する内容とする)	○市民アンケート調査実施(3年に一度/前回調査H23年度実施)